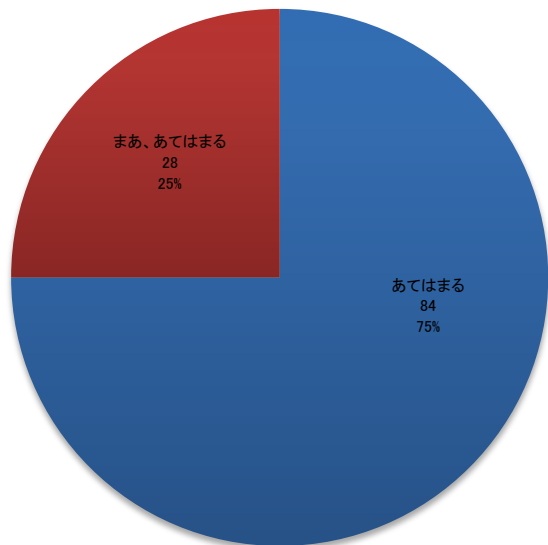
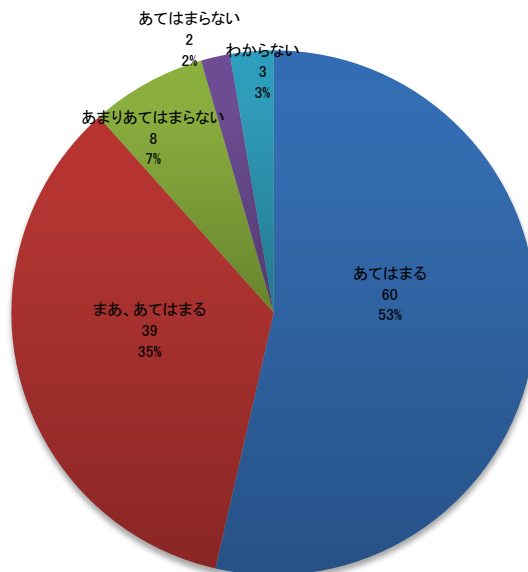


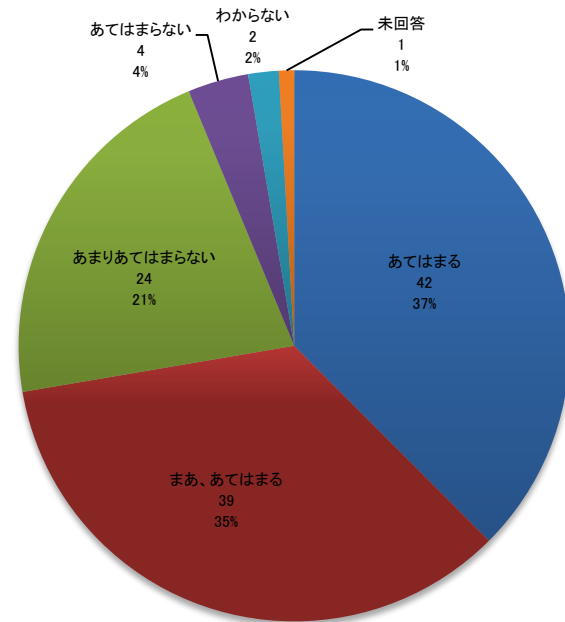
質問1: 患者の「仕事」に関心がある



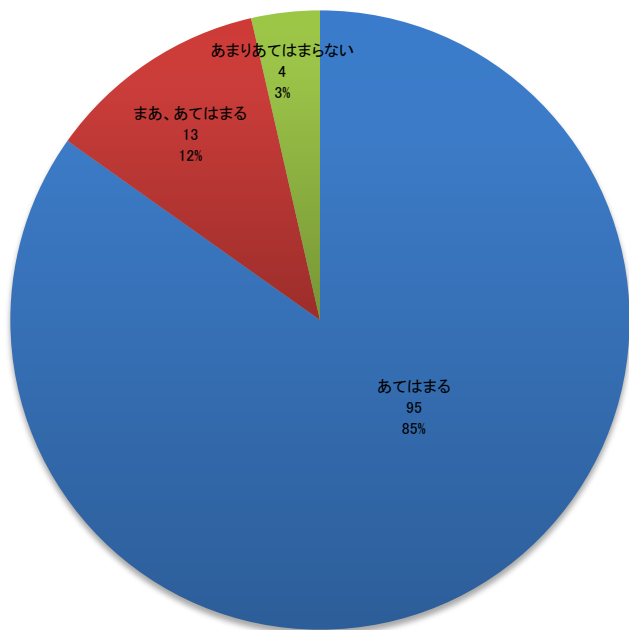
質問2: 患者の仕事の業務内容を聞くようにしている



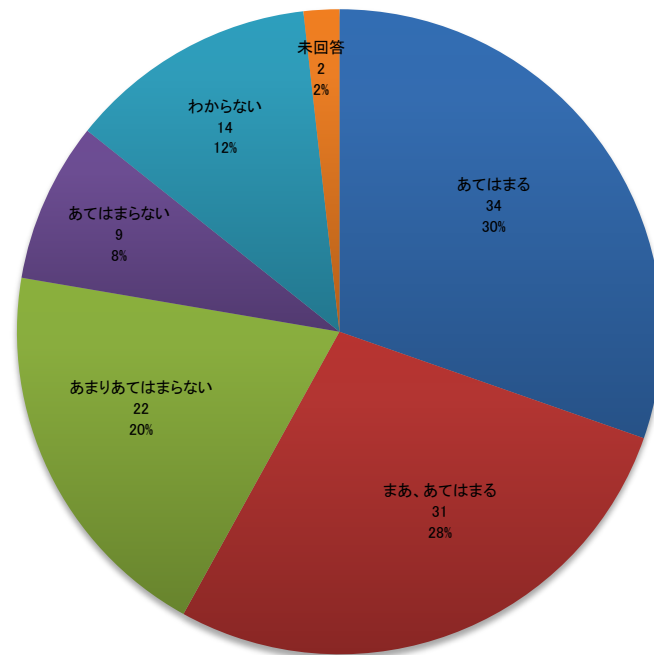
質問3: 患者の仕事の勤務形態を聞くようにしている



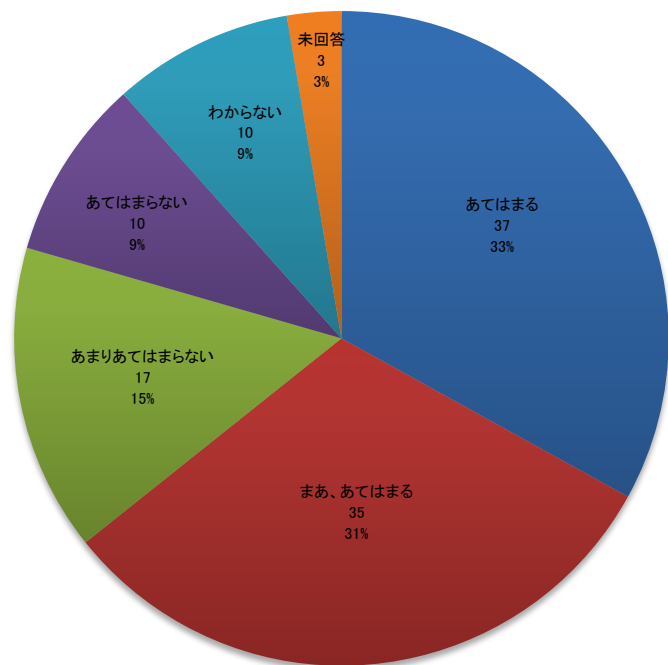
質問4: 患者が仕事を辞めずに治療できることは望ましいと考えている



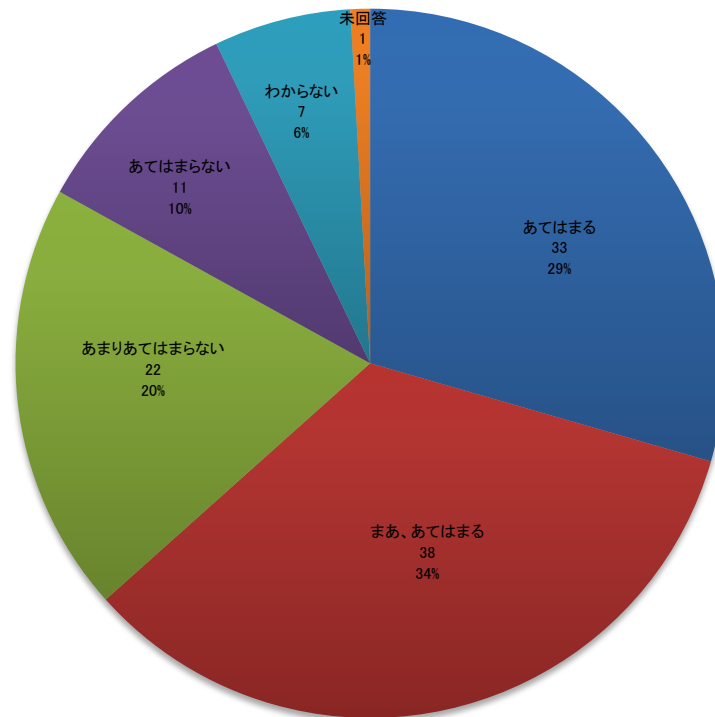
質問5: 患者が仕事をなるべく休まなくてすむように外来や検査の日にちや時間の設定に配慮している



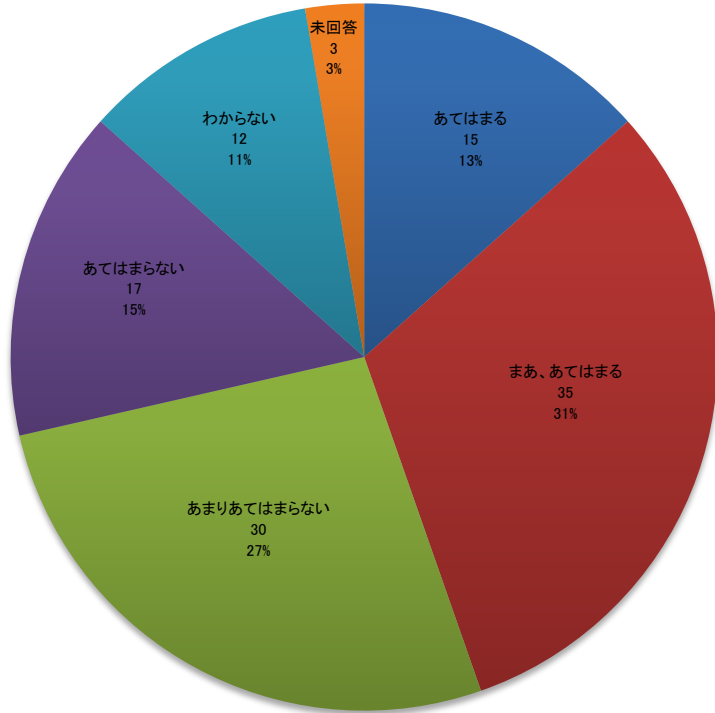
質問6: 患者には、治療の過程で仕事を休まないといけない時期や仕事への影響を説明している



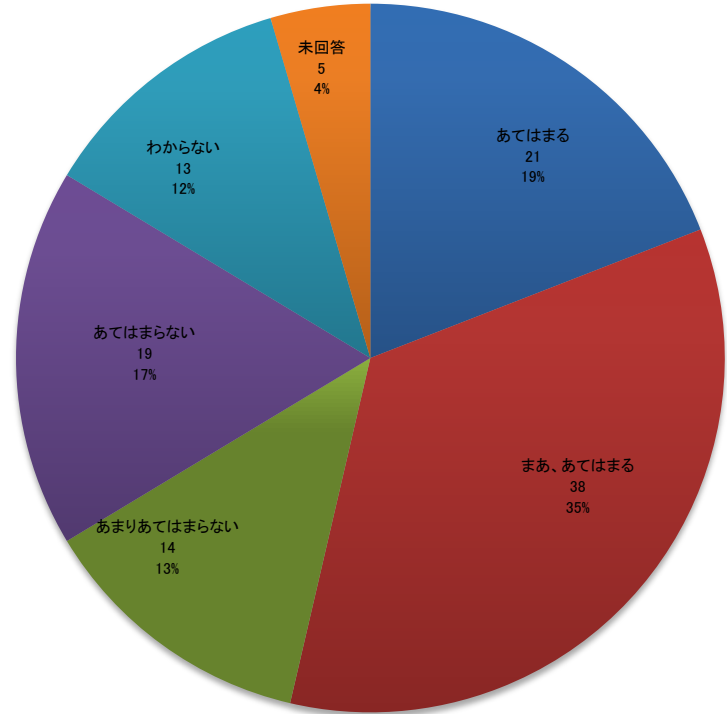
質問7: 患者には会社の上司などに今後の見通しについて説明し、理解をもとめるようアドバイスをしている



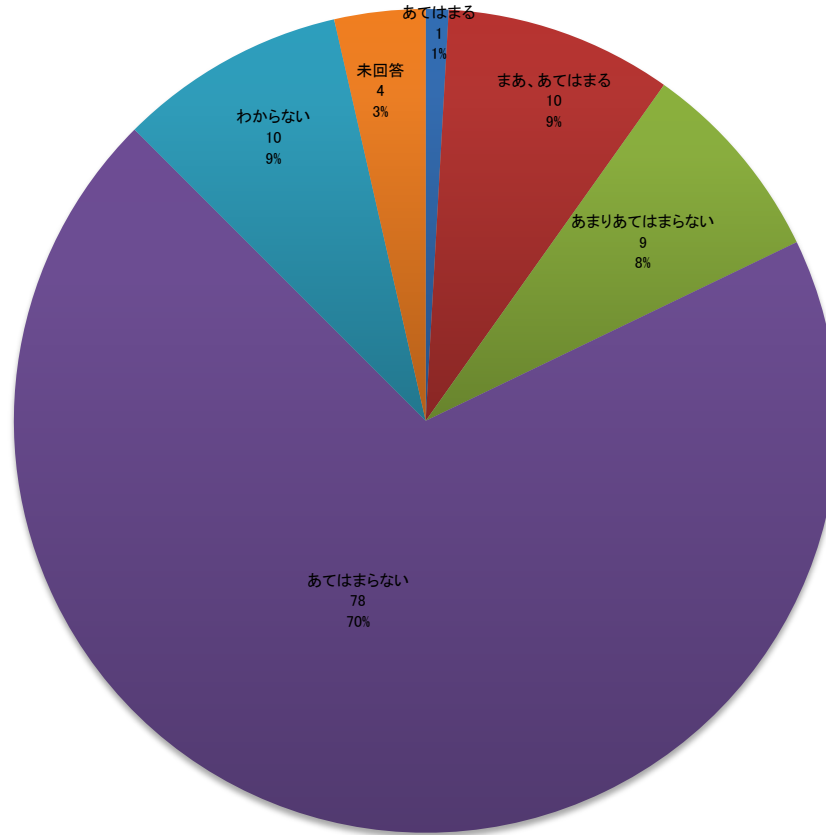
質問8: 休職した患者に対しては  
復職のタイミングについてアドバイスしている



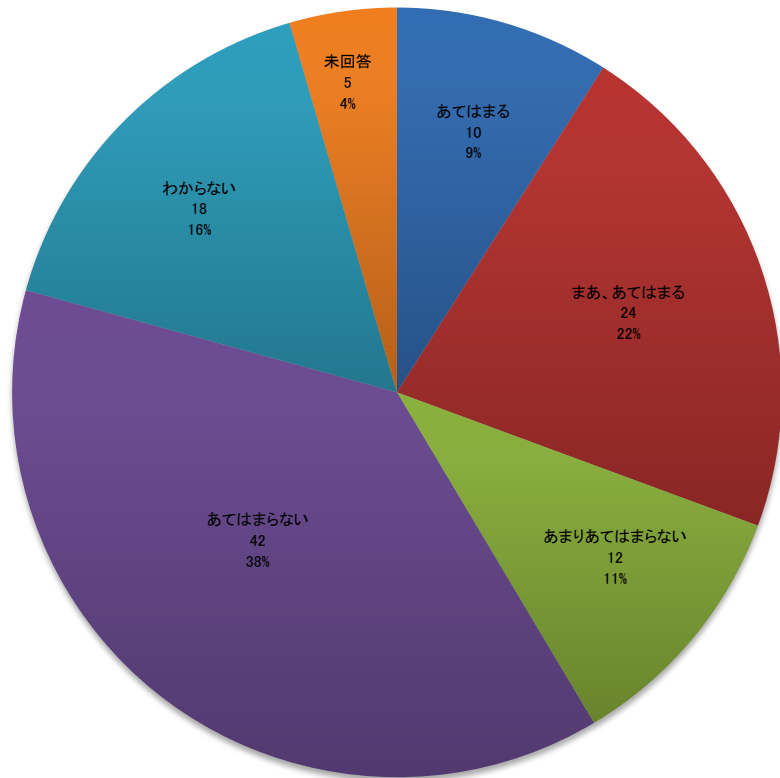
質問9: 患者が仕事を継続できるように  
副作用などをできるだけ減らすよう心がけている



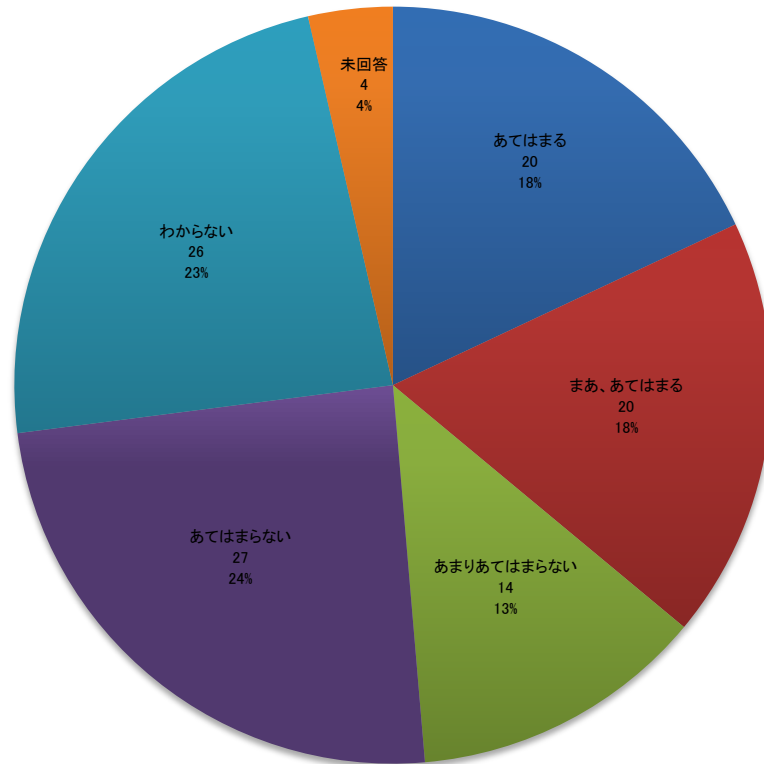
### 質問10: 患者の職場の産業医とやりとりをしたことがある



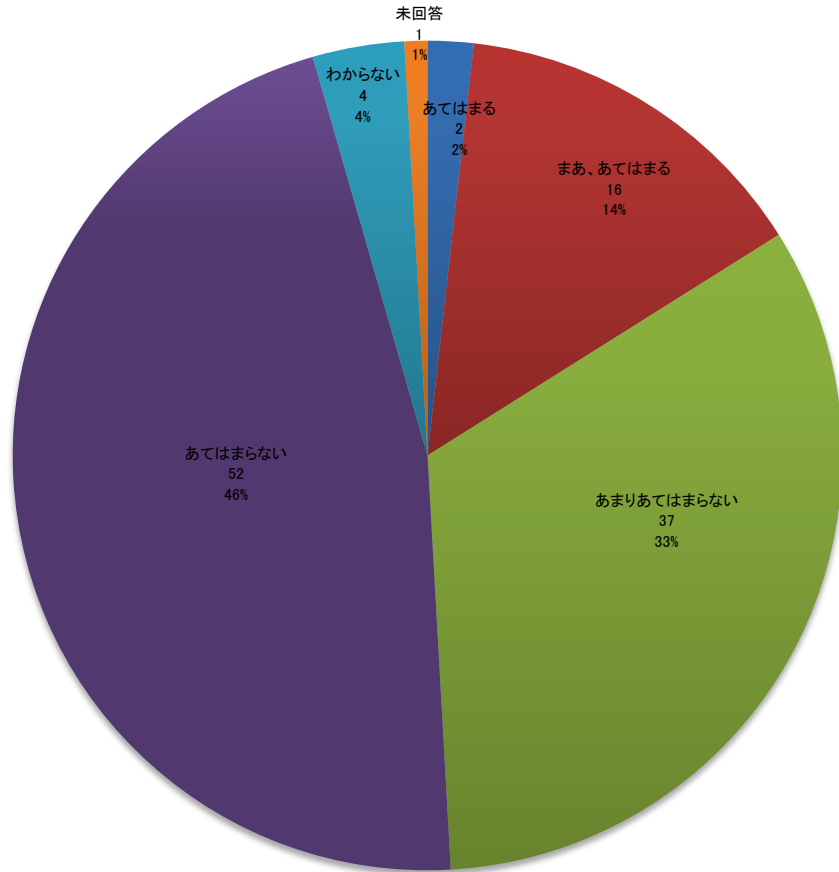
質問11: 会社に提出する診断書に今後の治療の見通しや  
職場に必要な配慮などを書くようにしている



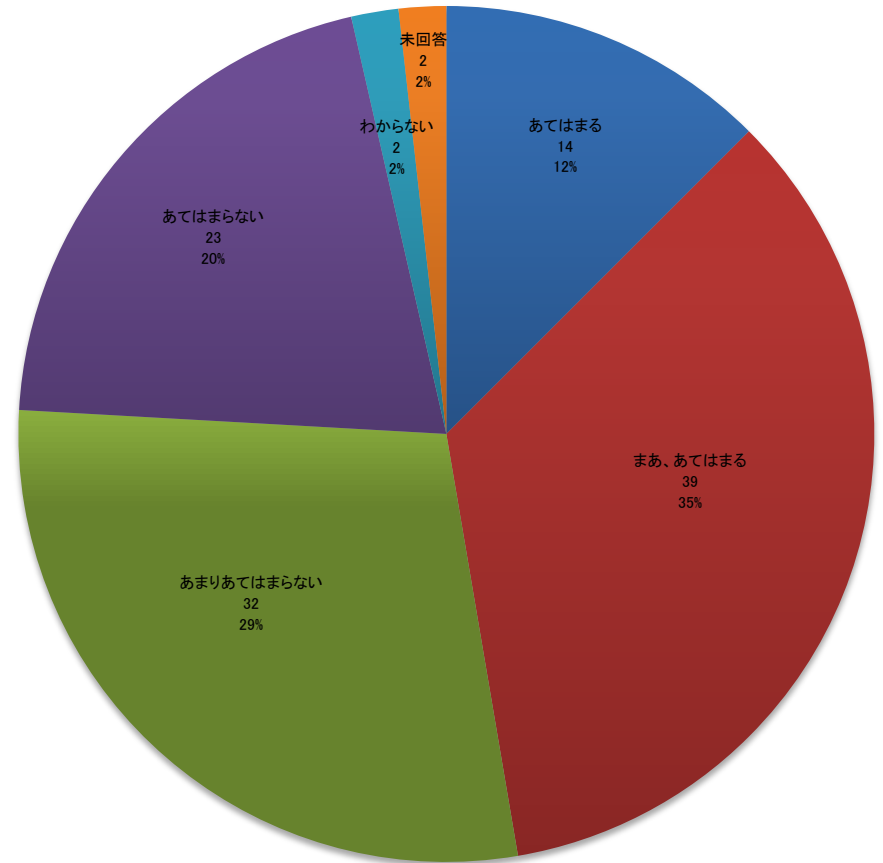
質問12: 患者の所属している会社の産業医から治療の見通しと  
職場に必要な配慮についての意見書などを求められたら回答する



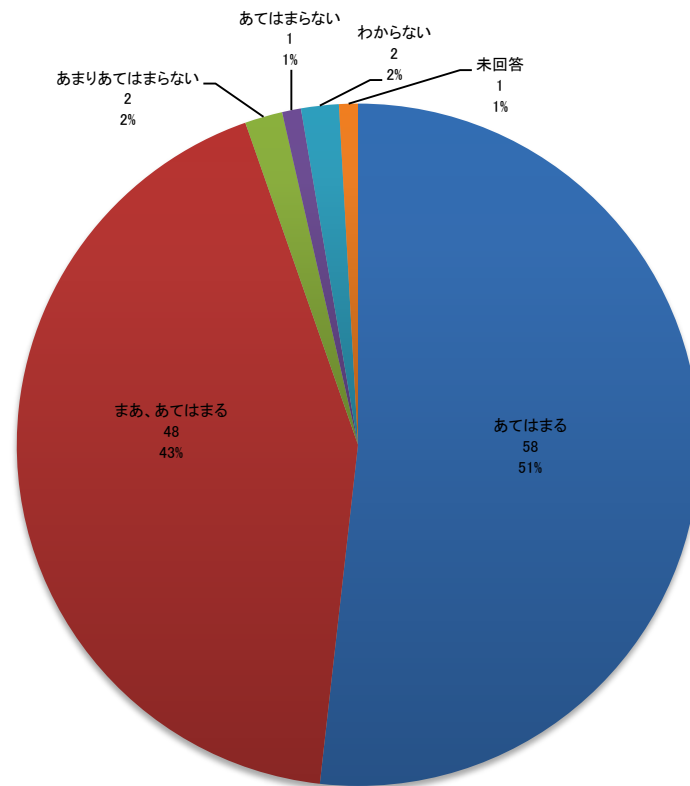
質問13: 医療者として、仕事の話までする時間的余裕はない



質問14: 患者の仕事についてアドバイスすることは難しい

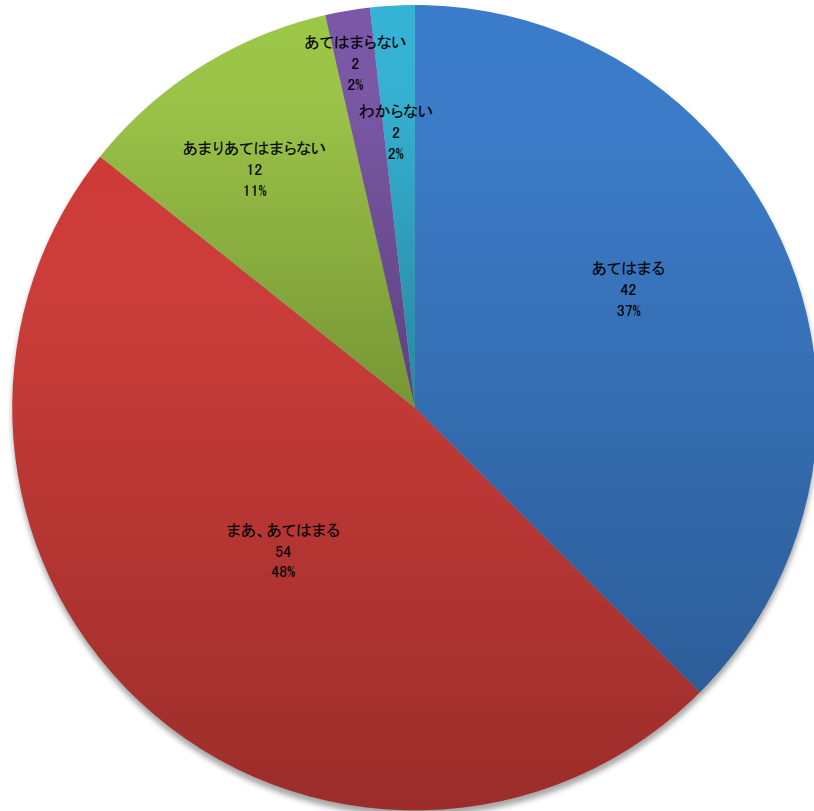


質問15: 患者は治療期間中の仕事の継続について  
もっと医療者に相談する方がよい

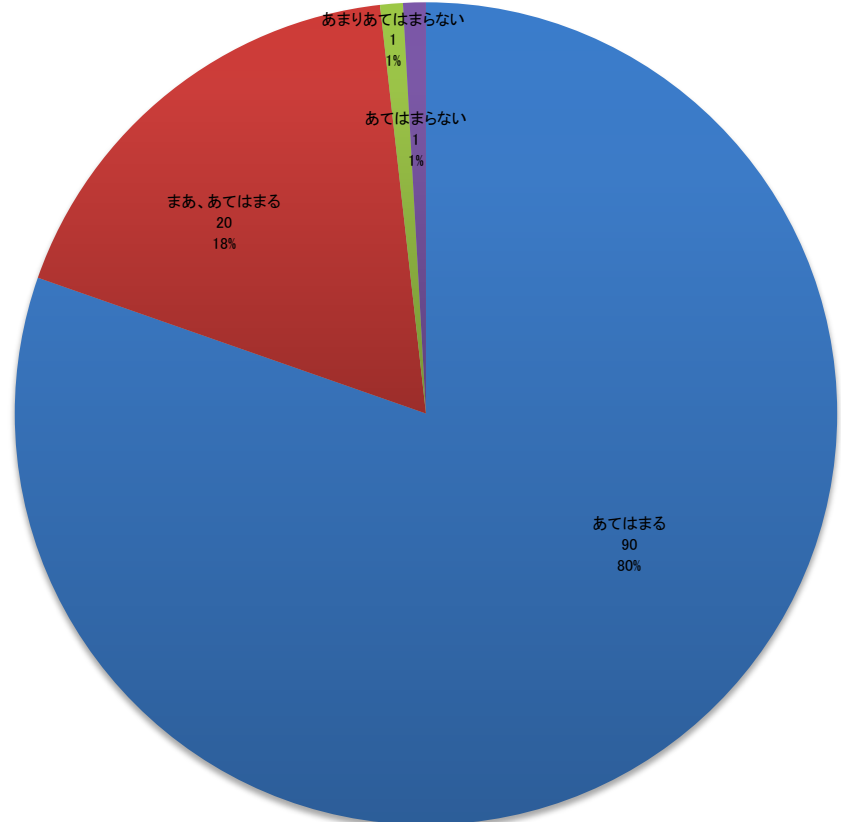




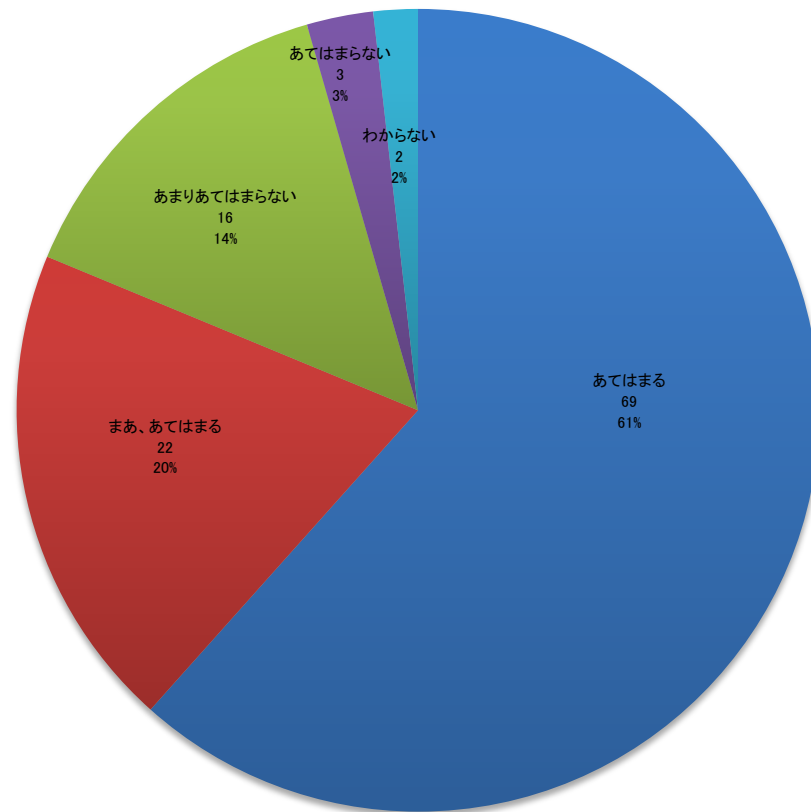
質問16: 看護師は患者の就業についての相談を積極的にうけることが望ましい



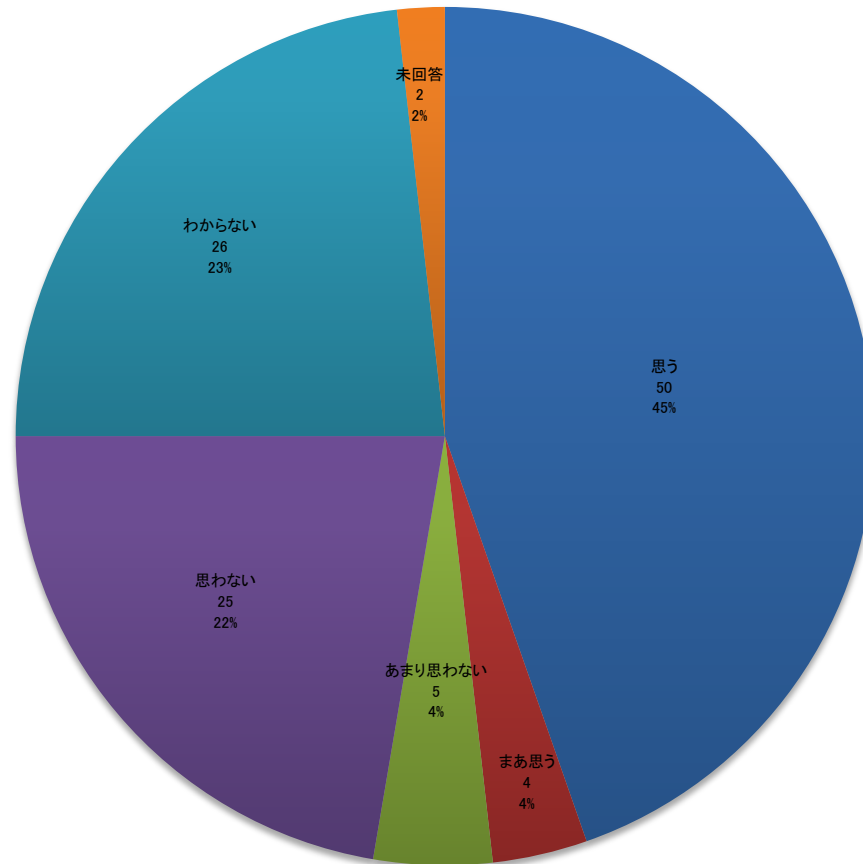
質問17: ケースワーカーやソーシャルワーカーは患者の就業についての相談を積極的にうけることが望ましい



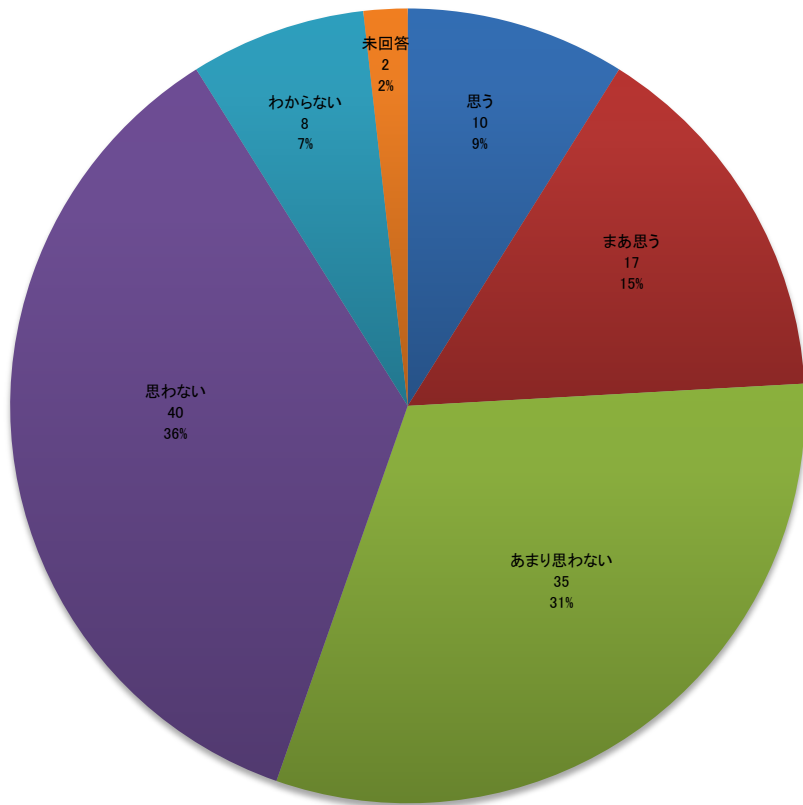
質問18: 医療者として治療費や高額療養費制度などについて患者に説明している



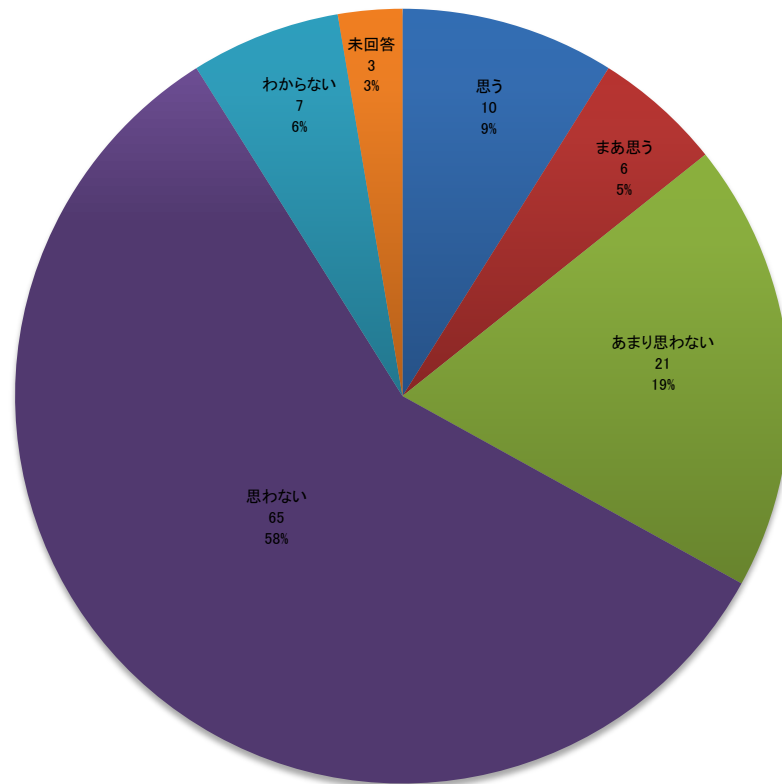
# 質問1: 貴科で使用している問診票には、患者の職業を問う欄がある



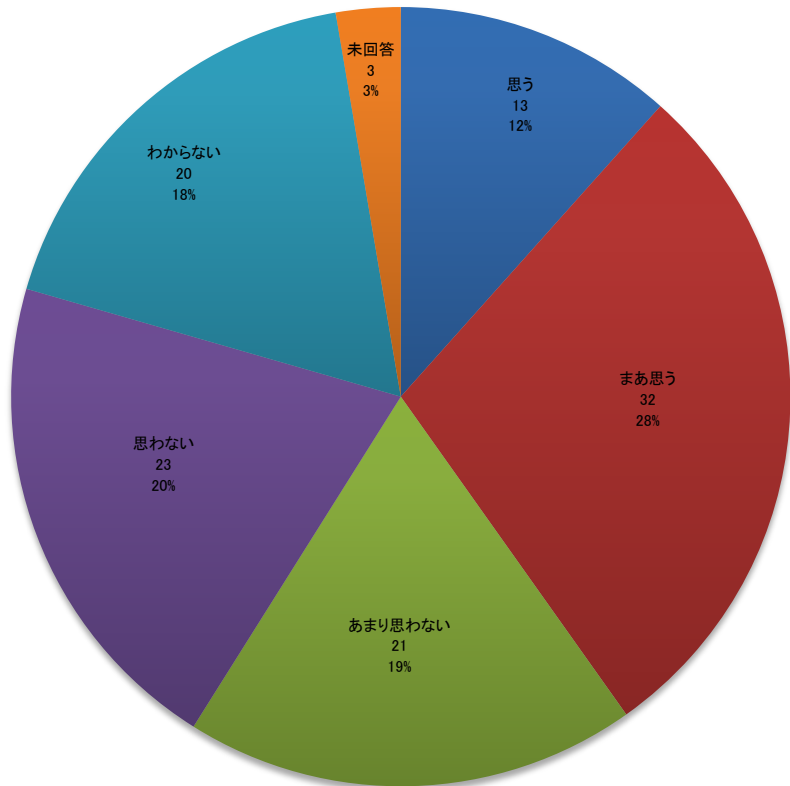
質問2: 外来は、予約の時間どおり(1時間以内のずれ)に受診できる



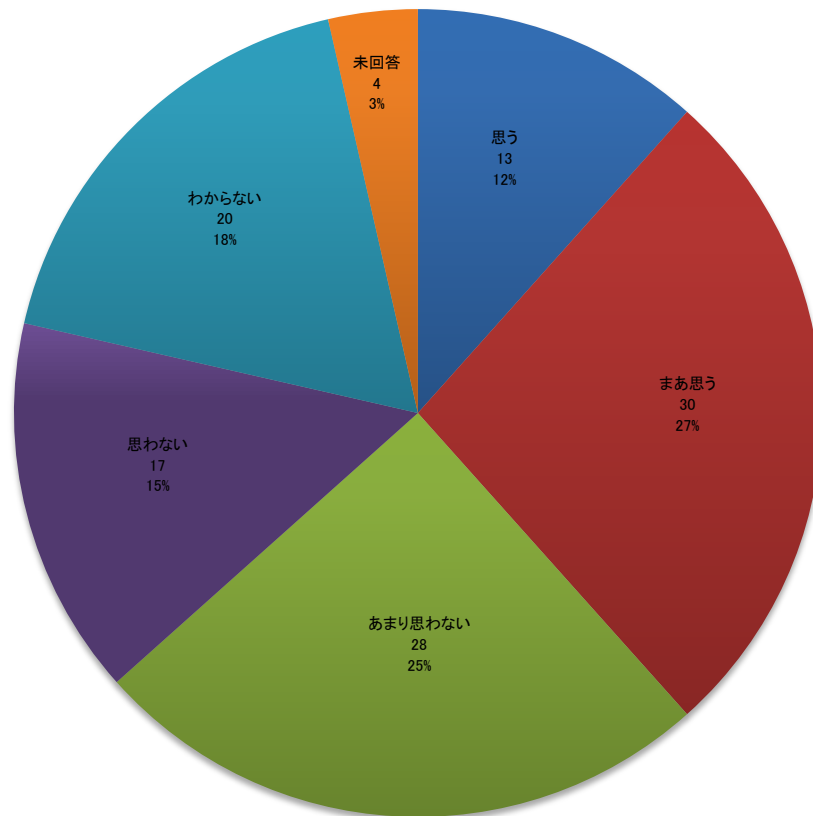
質問3: 外来は、平日夕方や週末など患者やその家族が仕事を休まなくても受診できるような体制がある



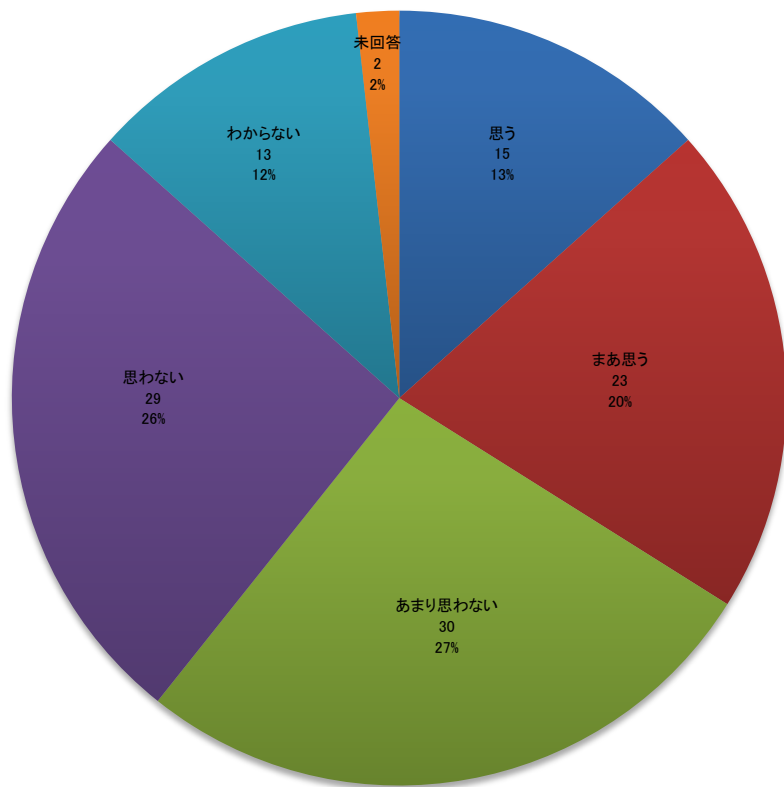
質問4: 抗がん剤の治療の日時や時間は、  
患者の仕事の予定に配慮して決められる



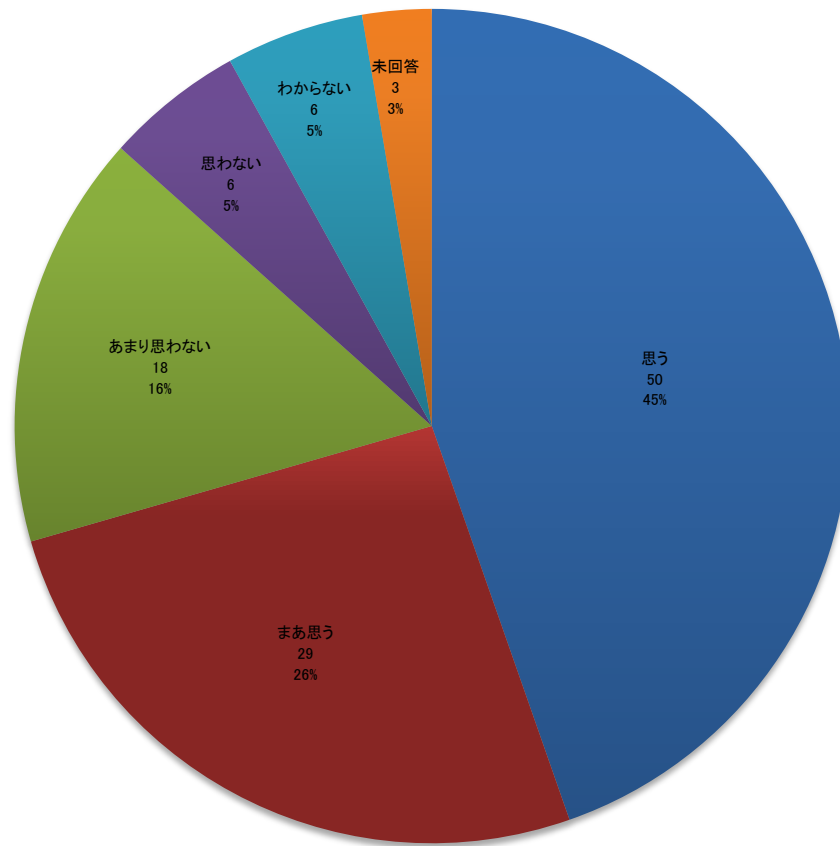
質問5: 放射線の治療の日時や時間は、  
患者の仕事の予定に配慮して決められる



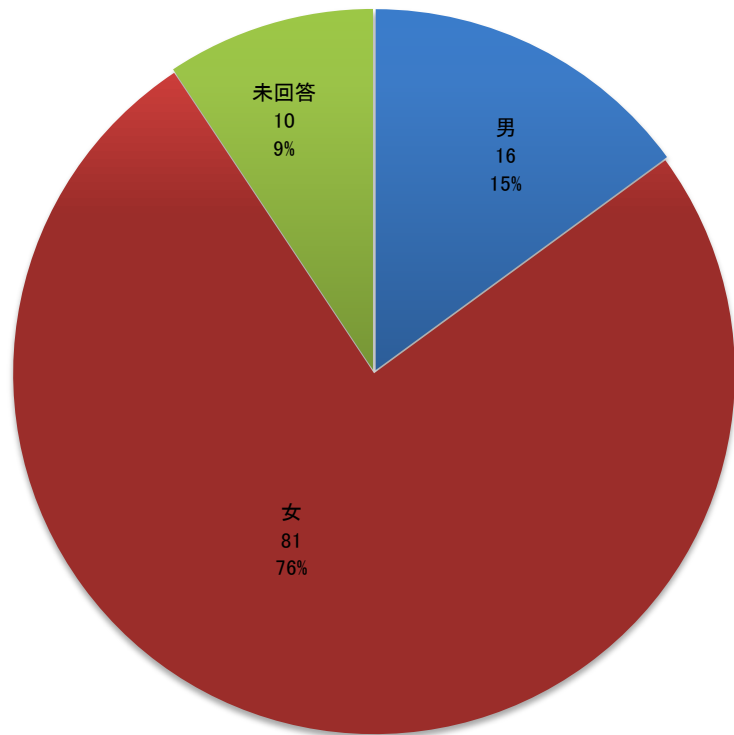
質問6: 就業に関して、患者の依頼や必要性に応じて  
看護師が患者に対して個別に対応する体制がある



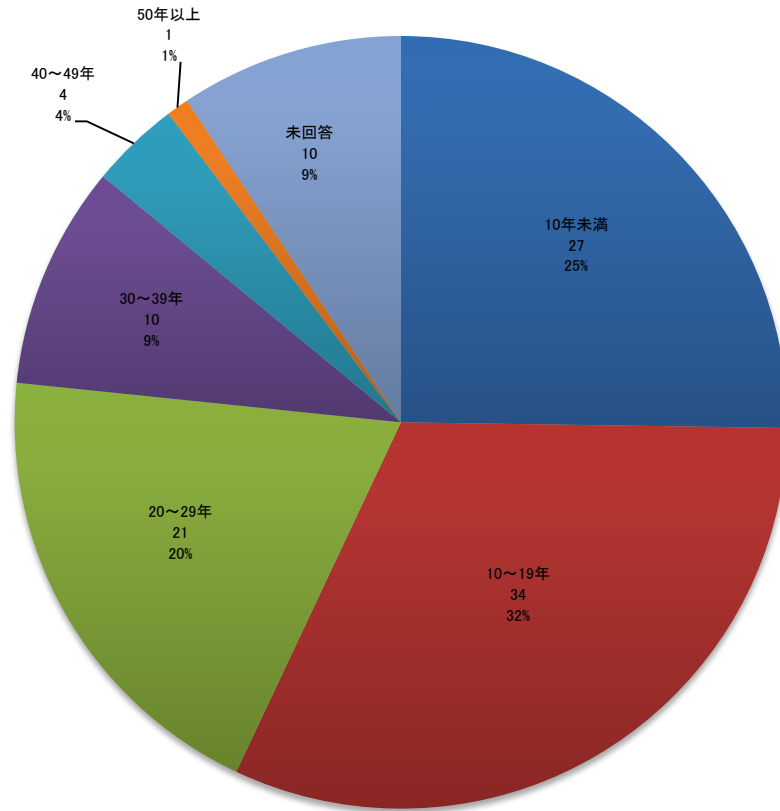
質問7: 就業に関して、患者の依頼や必要性に応じてケースワーカーや  
ソーシャルワーカーが患者に対して個別に対応する体制がある



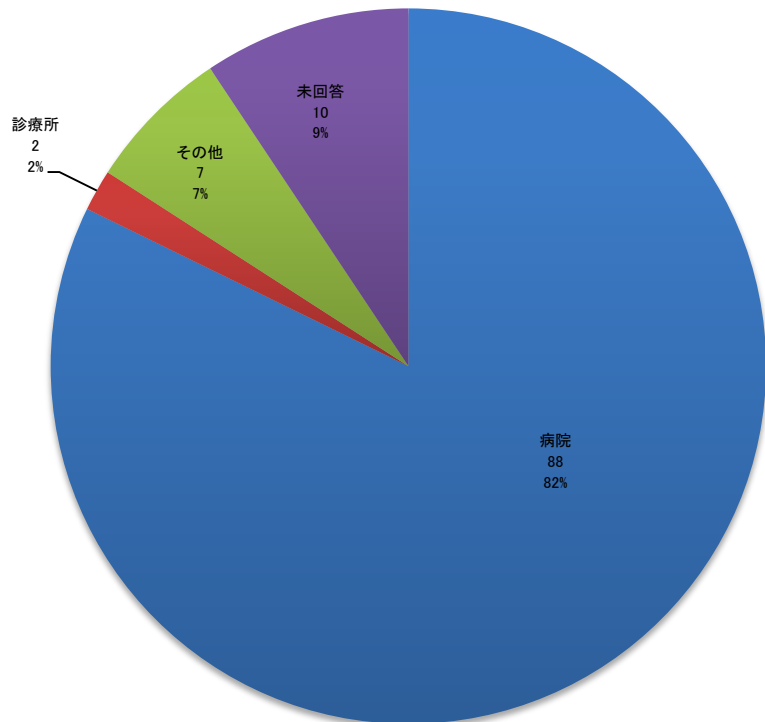
質問1: 性別をお答え下さい。



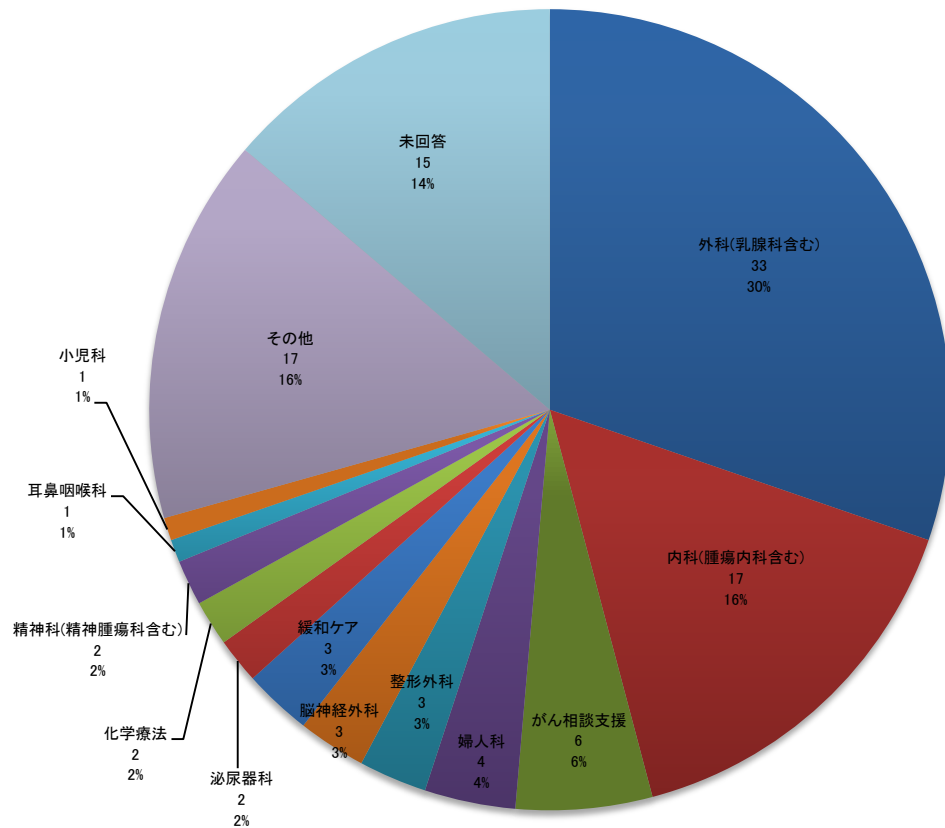
質問2: 医療者として何年目ですか。



質問3:主に勤務している医療機関の種類をお答えください。

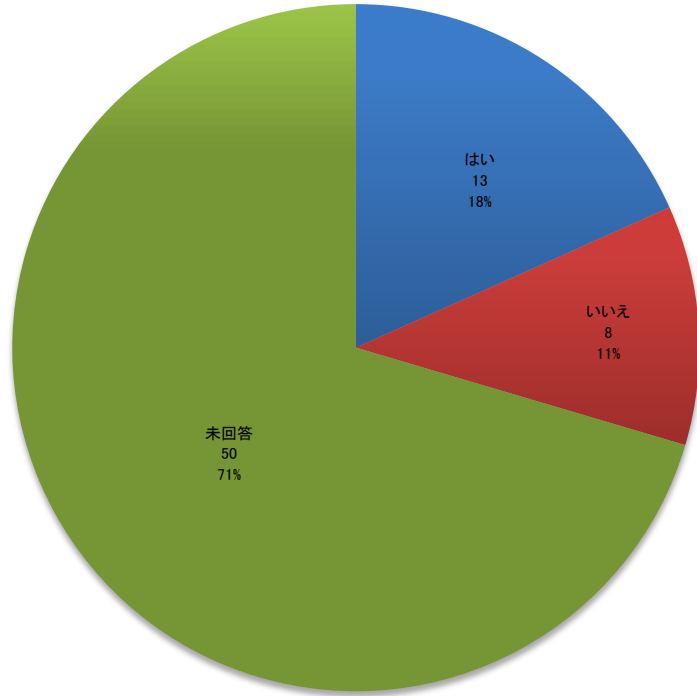


質問4:主に専門としている科を1つ選んでください。





質問5: 日本医師会認定産業医をお持ちですか？



質問5-1: 日本医師会認定産業医の取得予定はありますか？

